

みどりの杜俳句会

水際にふくらみ雨の猫柳

思ひきり膨らみ山辺の猫柳

佐山けさ子

木いちごの芽吹き初あたる山路かな

高橋 きみ

テーブルのグラスに斑入り椿かな

安田 久子

窓越しの桜見頃や誕生日

片雨 喜久

桜大樹通り過ぐ時香りけり

木元ひろ子

山うどの天ぶら穂先やはらかし

鈴木 啓子

今年また咲いてくれたか花菖蒲

深沢 七郎

中庭に出でて東屋花の中

荒川句似啓

春日和手入れ届かず庭木伸ぶ

吉田 愛子

裏の梅きのふの雨に枝を張る

河西カナメ

福寿草猫に搔かれて乱れ咲く

飯野 トヨ

枝の垂れ下り大樹の桃の花

田村 好子

馬場 芳

早咲きの桜や村の集会所

梅沢きくえ

春風やペットボトルのもぐら除け

高橋 ツ子

桜草手入れなきまま咲き満つる

飯野はつ志

黄の菖蒲川のほとりを明るくす

西 ツル

芽欠きしてじやが芋植うる日和かな

小宮 勉

ミモザ枝束ね軒下吊しあり

関口 侑子

黄な粉添へ手作り草の餅香る

野口利江子

チューリップ机に飾り一年生

岡部富美子

莢豌豆支柱につる伸び蕾付く

千野さく子

楓の芽先紅くして花の付く

初雁 功子

背丈越す枝に隙なし雪柳

土屋 厚子

日陰りて雪かと散り来山桜

山田 美子

白石短歌会

桜花咲くも散る人も居り花冷えの

三月の末に新元号を待つ

紅の濃き雅櫻を束ねけり

新しき世の希み託して

去年の春花桃の里にムスカリを

堀り分け呉れし旧友今在らず

花冷えの朝早よからの蔵取り

腰の痛みにうぐいすの声

渡邊阿里子

白石 礼子

坂本 美江



人権シリーズ

355

「住みよい社会の実現に向けて」

私たちは、それぞれ異なる個性を持ち、一人ひとり違った生き方をしていますが、この世に生を受けたかけがえない一人の人間として、人間らしく生き、幸せに暮らしたいという思いは同じです。そして、人権は、お互いに相手の立場を認め合い、権利や自由を尊重し合うことによって成り立っています。

生まれたときから障害がある人、事故や病気で障害が生じた人、加齢に伴う障害など、発生する時期は様々で、誰もがいつまでも健康でいられるとは限りません。また、他の人からすぐにわかる障害もあれば、一目見ただけではわからない障害もあります。大切なことは、障害の有無に関係なく、お互いに相手の立場になって考え、共に生きるために支え合うことです。

しかし、残念ながら、障害のある人に対する心ない言葉や視線、人間としての尊厳を傷つけるような扱いなど、障害のある人の人権を侵害するような出来事が依然として後を絶ちません。

また、障害のある人の行動や社会参加を妨げる様々なバリアを取り除き、社会全体を利用しやすいものへと変えていくことの重要性が、近年広く認識されるようになってきています。

二〇二〇年のオリンピック・パラリンピックに向けて、世界中の人が利用しやすい施設、製品等を設計するユニバーサルデザインのまちづくりにも、できる限り取り組む必要があるのではないのでしょうか。

今後、障害のある人の人権と尊厳が保障されると共に、障害のある人が安全で豊かな生活が送れる社会になるように、まちのバリアフリー化が進むことを願っております。

東秩父村身体障害者福祉会長

山崎 良一